

教育学部 教員養成課程

教育学部 理科教育コース

		到達目標	ディプロマポリシー			
			感じる力	考える力	コミュニケーション力	生きる力
教科教育科目		学生は、理科の授業の学習指導の流れを理解し、理科の特性と児童生徒の発達段階に応じた学習指導を構想・実践できる。	○	◎		○
		学生は、理科の各領域（物理・化学・生物・地学）の特性に応じた指導上の留意点を説明することができる。	○	◎		
		学生は、協働学習、ICTの導入など理科授業の実践研究の動向を理解し、それを生かした授業設計の手法を実践できる。		◎	◎	○
総合科目・基礎科目		学生は、地域における理科教室の実践において、臨機応変に児童生徒や保護者に対応できる。	○		○	◎
		学生は、地域における理科教室の設計と実践において、自発的・協働的に活動できる。		○	◎	○
		学生は、グループ討論、模擬的な実践・分析検討を通して、地域における現代的な教育問題や児童生徒の発達段階を踏まえた理科の授業内容・方法を具体的に提示し考察することができる。	○	○		◎
教科専門科目	物理学	学生は、力学・電磁気学・熱力学等に関する基礎的知識を身につけ、身近な物理現象を論理的に説明することができる。	○	◎		○
		学生は、物理教育をめぐる現代的課題について、専門的知識に基づいて適切な対応を考えることができる。	○	◎		○
		学生は、研究論文作成の基礎を身につけることを通して、自律的な学習者として、主体的に学び、振り返ることができる。		◎	○	○

	物理学実験	学生は、教育現場で取り上げられる物理分野に関する基礎的な実験について理解し、その手法を実践できる。	○	○	◎	
		学生は、教育現場で効果的な物理実験のための教具の活用法を理解し、実践できる。	○		◎	○
		学生は、データの分析およびレポートの作成の技能を身につけ、物理分野の実験結果を適切に表現することができる。		○	◎	○
	化学	学生は、物質の性質を理解するための基礎的知識を身につけ、身近な化学現象を論理的に説明することができる。	○	◎		○
		学生は、化学教育をめぐる現代的課題について、専門的知識に基づいて適切な対応を考えることができる。	○	◎		○
		学生は、研究論文作成の基礎を身につけることを通して、自律的な学習者として、主体的に学び、振り返ることができる。		◎	○	○
	化学実験	学生は、教育現場で取り上げられる化学分野に関する基礎的な実験について理解し、その手法を実践できる。	○	○	◎	
		学生は、教育現場で効果的な化学実験のための教具の活用法を理解し、実践できる。	○		◎	○
		学生は、データの分析およびレポートの作成の技能を身につけ、化学分野の実験結果を適切に表現することができる。		○	◎	○
	生物学	学生は、分子レベルから生物群集レベルまでの基礎的知識を身につけ、身近な生物現象を論理的に説明することができる。	○	◎		○
		学生は、生物教育をめぐる現代的課題について、専門的知識に基づいて適切な対応を考えることができる。	○	◎		○
		学生は、研究論文作成の基礎を身につけることを通して、自律的な学習者として、主体的に学び、振り返ることができる。		◎	○	○

	生物学実験	学生は、教育現場で取り上げられる生物分野に関する基礎的な実験について理解し、その手法を実践できる。	○	○	◎	
		学生は、教育現場で効果的な生物観察・実験のための教具の活用法を理解し、実践できる。	○		◎	○
		学生は、データの分析およびレポートの作成の技能を身につけ、生物分野の実験結果を適切に表現することができる。		○	◎	○
	地学	学生は、宇宙科学、地質学・古生物学の基礎的知識を身につけ、身近な地学現象を論理的に説明することができる。	○	◎		○
		学生は、地学教育をめぐる現代的課題について、専門的知識に基づいて適切な対応を考えることができる。	○	◎		○
		学生は、研究論文作成の基礎を身につけることを通して、自律的な学習者として、主体的に学び、振り返ることができる。		◎	○	○
	地学実験	学生は、教育現場で取り上げられる地学分野に関する基礎的な実験について理解し、その手法を実践できる。	○	○	◎	
		学生は、教育現場で効果的な地学実験のための教具の活用法を理解し、実践できる。	○		◎	○
		学生は、データの分析およびレポートの作成の技能を身につけ、地学分野の実験結果を適切に表現することができる。		○	◎	○

#### 教育学部ディプロマポリシー (DP)

三重大学教育学部は、学校現場における諸課題に対応できる実践的指導力を身につけた地域に貢献しうる教育人材を育成します。  
教育学部は、次のような資質・能力を備えた人に対して、厳格な評価基準に基づいて学位を授与します。

・「感じる力」

教員に求められる使命や責任を理解し、幼児や児童生徒の心身の成長を支えることができる。

・「考える力」

教育に関する専門的な知識や技能に基づいて学級等を経営するとともに、授業等を計画・実践し、さらなる改善策を考え示すことができる。また、教育をめぐる諸課題を把握し、解決策を考え示すことができる。

・「コミュニケーション力」

子どもの多様性を認め、一人ひとりに配慮した教育を行うことができる。また、同僚、保護者、地域の人々と協働しながら諸課題の解決に取り組むことができる。

・「生きる力」

社会人としての教養や公正な態度、柔軟な思考を身につけ、地域社会の動向を踏まえながら、責任ある行動をとることができる。また、自己研鑽の必要性を理解し、主体的・自律的に学び続ける意欲や態度を有している。